

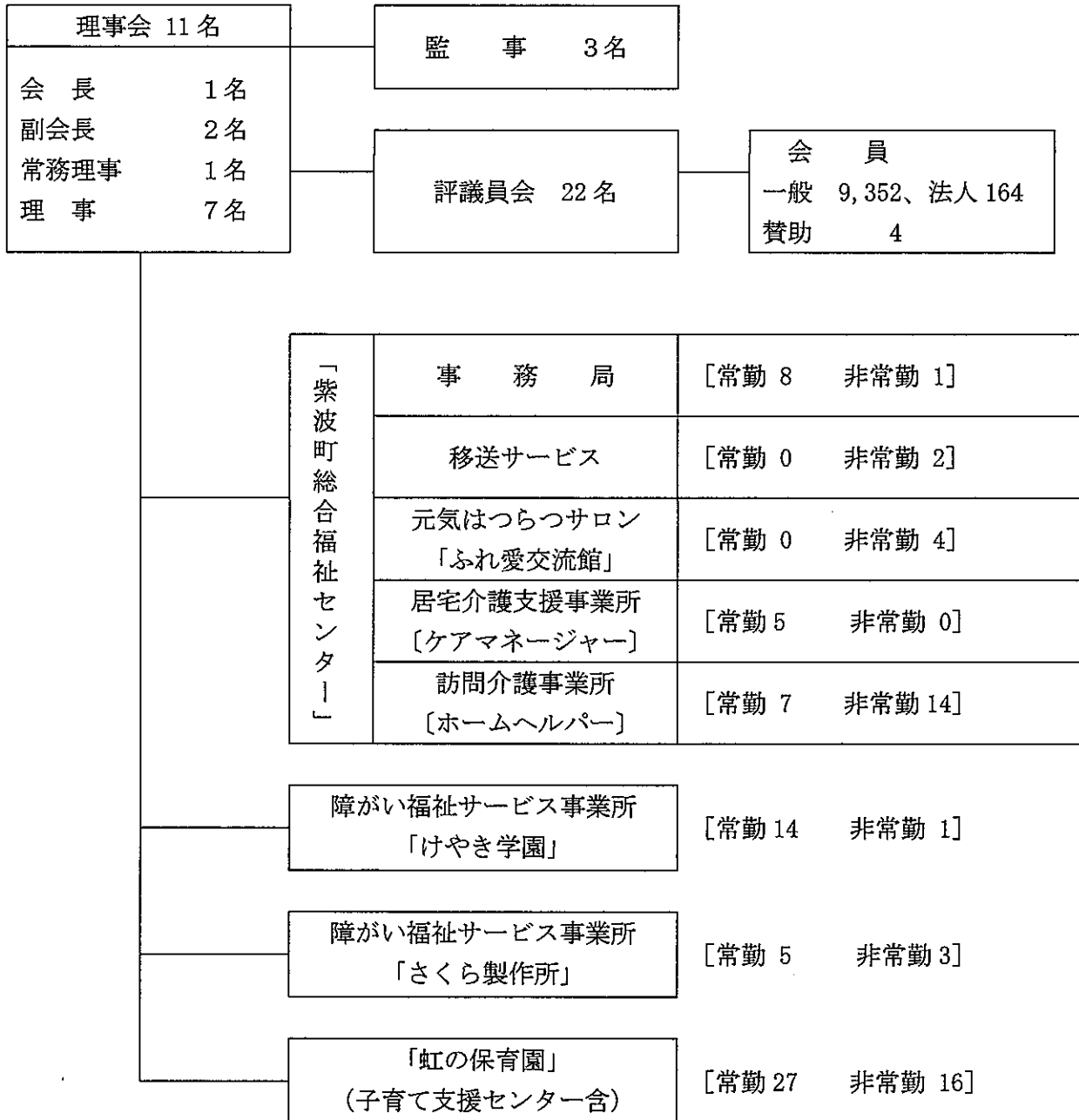
令和5年度

社会福祉法人紫波町社会福祉協議会 事業報告書

第1 法人運営

1 組織

令和5年度組織図（3月末現在）



職員総数
常勤 66 非常勤 41 計 107人

2 会費

(1) 会費

・個人会費 1,000円 ・法人、賛助会員 3,000円

(2) 実績

・個人会費 9,351,300円 (前年度比+90,623円)
 ・法人会費 694,000円 (164法人) (前年度比-13,000円 (-3法人))
 ・賛助会費 75,000円 (4団体) (前年度同額)
 ・合計 10,120,300円 (前年度比+77,623円)

第2 福祉基金保有高等

前期末残高	当期取崩額	当期積立額	当期末残高
57,037,935円	0円	129,517円	57,167,452円
		〔 寄付金 128,375 〕 〔 利息配当等 1,142 〕	

福祉事業への寄付金 633,815円

第3 会議・監査会の開催状況

1 理事会 理事定数11名、(監事3名)

	開催月日	出席者	議 題
第1回	5月23日	9 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告、決算 ・諸規程の一部改正 ・令和5年度補正予算(第1号) ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・役員候補者の推薦 ・定時評議員会の招集
第2回	6月11日	10 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長並びに常務理事の選任 ・就業規則の一部改正
第3回	8月22日	10 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正
第4回	12月14日	11 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい義援金の配分
第5回	3月12日	11 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程等の全部改正及び一部改正 ・児童サービス拠点における積立 ・介護サービス拠点における人件費積立金の取崩し ・令和5年度補正予算(第2号) ・役員等賠償責任保険契約 ・令和6年度事業計画、予算 ・評議員会の招集

2 評議員会 定数 22 名、(監事 3 名)

	開催月日	出席者	議 題
第 1 回 定時評 議員会	6 月 9 日	17 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度事業報告、決算 ・令和 5 年度補正予算(第 1 号) ・役員の選任
第 2 回	3 月 21 日	19	<ul style="list-style-type: none"> ・児童サービス拠点における積立 ・介護サービス拠点における人件費積立金の取崩し ・令和 5 年度補正予算(第 2 号) ・令和 6 年度事業計画、予算

3 評議員選任・解任委員会

	開催月日	監 査 内 容
第 1 回	5 月 25 日	・評議員の選任

4 監査会

	開催月日	監 査 内 容
第 1 回	5 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度 1 月～3 月事業内容 ・令和 4 年度 1 月～3 月定例監査 ・令和 4 年度決算監査
第 2 回	7 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度 4 月～6 月事業内容 ・令和 5 年度 4 月～6 月定例監査
第 3 回	10 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度 7 月～9 月事業内容 ・令和 5 年度 7 月～9 月定例監査
第 4 回	1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度 10 月～12 月事業内容 ・令和 5 年度 10 月～12 月定例監査

5 地域福祉団体との懇談会等

会議名	開催月日	出席者	内 容
町内社会福祉法人連 携ネットワーク推進協議会	4 月 28 日	17	<ul style="list-style-type: none"> ・事業と決算の報告 ・共同実施連携事業と予算
たんぼぼ食堂開催に 向けた打合せ	5 月 15 日 から 6 回	延 34	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂を地域の方々とともに安心感がある居場所の提供を目指して中央公民館で開催
地域福祉活動計画 策定委員会開催	2 月 20 日	18	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の進捗状況及び次年度に取り組むためのアイデアについて

6 BCP計画策定に伴う他団体との協力体制推進

(1) 災害時における避難支援体制構築に向けた勉強会の開催

①日 時：令和5年10月19日（木）午前12時30分～午後4時

②場 所：紫波町情報交流館2階大スタジオ

③参加者：47名

④内 容：次のとおり

- ・講義1「災害時における初動対応及び役割」

講師：社会福祉法人岩手県社会福祉協議会参事兼地域企画部長兼
ボランティア市民活動センター所長 齊藤穰氏

- ・講義2「紫波町地域防災計画における福祉避難所の役割」

講師：紫波町役場企画総務部消防防災課主幹 工藤睦氏

- ・講義3「実録！福祉避難所の運営」

講師：社会福祉法人堤福祉会特別養護老人ホームらふたあヒルズ施設長
松村とく子氏

- ・講義4「災害時における初動対応及び役割」

講師：いわてNPO災害支援ネットワーク現場コーディネーター 千葉菜津樹氏

第4 福祉活動推進事業

1 広報

(1) 社会福祉協議会広報紙「社協だより」の発刊

社会福祉協議会事業の紹介のほか、福祉情報を提供しました。

- ・発行回数 6回（全世帯と法人会員に配布）

(2) 「福祉声のおたより」の発行

朗読ボランティア「銀の鈴」の協力を得て、広報紙をCDに録音し、視覚障害者へ提供しました。

- ・録音項目 町広報、町議会報、社協広報他町内関連文書

- ・会 員 7名
- ・利用者 10名

(3) SNSの活用

社会福祉協議会の事業予定、報告その他福祉情報を多世代に向け、インターネットを活用し発信しました。

① Facebook（フェイスブック）	令和3年6月から運用	フォロワー数	243名
② YouTube（ユーチューブ）	令和4年5月から運用	チャンネル登録者数	2名
		視聴回数	217回
③ Instagram（インスタグラム）	令和5年3月から運用	フォロワー数	402名
		投稿数	78件

2 金婚を祝う会

長年苦楽を共に歩んできた夫婦の結婚50周年を祝し「金婚を祝う会」を開催しました。

- ・期 日 11月23日（木）
- ・場 所 ラ・フランス温泉館 ホテル湯楽々
- ・参加者 4組、8名
- ・記念写真・踊り、50年の思い出ビデオレター

3 福祉用具の貸出

(1) 車椅子貸出 (保有 15 台)

歩行困難者の日常生活支援のため、6 か月を限度に車椅子を無料で貸し出しました。

・貸出延数 41 台

(2) 福祉教育用具貸出

学校の福祉教育推進のため、福祉用具を無料で貸し出しました。

・貸出延数 点字器 (保有 28 セット) 1 回 紫波東学園

(3) キャップハンディ体験

町内小中学校の福祉学習の際に、職員が車いす、白杖の体験の出前講座を行いました。

・出前講座 車いす・白杖体験 6 校 日詰、古館 (2)、西の杜、赤石 (2)、
紫波東、二中

・福祉講座 金濱朋美氏 4 回 西の杜、赤石、紫波東、二中
近藤会長 1 回 二中

第5 地域福祉活動の推進

1 日常生活自立支援事業の支援

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで日常生活上の判断能力が不十分な方でも適切に福祉サービスが利用できるように、福祉サービスの利用援助や日常生活に必要な金銭管理をお手伝いしました。

・利用者数 18 名 (3 月末現在)
・生活支援員 (紫波町担当) 3 名 (週 1 ~ 2 回訪問)

2 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金 (県社協委託事業)

資金名		件数	貸付総額	貸付限度額
当期決定貸付総額		5 件	2,257,000 円	
内	緊急小口資金	3 件	147,000 円	100,000 円
	福祉資金	0 件	0 円	50 万円~580 万円、対象経費による
訳	総合支援資金	0 件	0 円	単身 15 万円、2 人~20 万円
	つなぎ資金	0 件	0 円	必要最小限
	教育支援資金	2 件	2,110,000 円	

※前年度 7 件 4,200,000 円

(2) たすけあい金庫

緊急出費を要し、援護の必要がある方を対象として資金貸付を実施しました。

・利用限度額 50,000 円 ・当期利用状況 0 件

- 3 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）生活困窮相談支援事業【継続事業 町補助】
岩手県社会福祉協議会と連携し相談窓口対応を行い、継続的支援を要する場合には、本人の自立に向けた支援方針と達成目標等を示し、複合的な生活課題に対して町を含めた関係機関と連携し、個人や世帯への支援を行いました。

主な支援内容は、相談、同行支援（病院、ハローワーク等）、食糧支援等です。

(1) 相談内容

収入・生活費、仕事、住居、債務税滞納、生保申請、健康通院療育、片付その他

(2) ふれあいカフェの実施

町民の困りごとや悩みごとの相談だけでなく、誰でも気軽に集まることができる居場所として『ふれあいカフェ』を開催しました。

- ・日 時 令和5年4月～6年3月 10:00～15:00 12回開催
- ・場 所 町総合福祉センター2階和室 ・参加者 延べ275名

(3) ふれあいミーティングの開催

個人や世帯に対し継続的に支援を行うため、本人の自立に向けた支援方針と達成目標等について、町を含めた関係機関と連携し情報共有を図りました。

- ・令和元年4月から 毎月1回開催 町総合福祉センター
- ・町、県社協、町社協（CSW、SC）、障害者基幹相談支援センター（矢巾町）、図書館司書、コミュニティーナース等

- 4 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）【継続事業 町委託 650千円】
町では、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業として、生活支援コーディネーターを配置し、資源開発、ネットワーク構築、ニーズと取組のマッチングを行い、地域で暮らす人を支援する人やサービスをつなぐ取組を行いました。

(1) 実施内容

いこいの家や住民主体のサロンに出かけ、日常の暮らしぶりを聴いています。その中で地域でささえ合い、たすけ合いを実践している皆さんの活動をまとめました。

『まちのあつまりっこ』を作成し、紫波中央駅待合施設や公民館に配りました。

(2) 町主催シンポジウムへ生活支援コーディネーターとして参画

～みんなが主役！見つけよう地域のつながり～お宝事例発表会

- ・日 時 2月17日（土） 13:30～15:30
- ・場 所 紫波町情報交流館2階大スタジオ ・参加者 102名
- ・講 師 特定非営利法人 全国コミュニティーライフサポートセンター
地域支え合い推進センター 参事 橋本泰典 氏

- 5 法人連携等による地域福祉活動支援事業 【継続事業、法人拠出】

地域福祉活動の中で見つかった生活課題に対して、地域での新しい支え合いを推進するため、解決に結びつく専門家・社会福祉法人・ボランティアと連携し関わるネットワーク形成を図りながら新たな取組を行いました。

(1) 町内法人連携による共同実施推進事業

① 買い物等支援事業

- ・日 時 令和5年4月～6年3月 10:00～12:00 第一水曜日 12回実施
- ・車 両 5台（紫波会・志和大樹会・爽生会は各1台、社協2台）
- ・利用状況 登録者33名 利用実績 延べ259名
利用者は町中央部から離れた地域の方が利用しています。
- ・実施内容 盛岡南ショッピングセンターで買い物50分

② 就労準備支援ボランティア事業

- ・日 時 11月10日（金）～14日（火）
- ・体験者 1名 ・受入法人 紫波町社会福祉協議会
- ・内 容 洗車、福祉センター館内清掃、PC入力、書類整理

(2) たんぽぽ食堂及びフードパントリーの開催

ひとり親家庭等の子どもを対象に、地域の方々とともに安心感がある居場所を提供することで、地域全体で子どもたちを見守る・育てるきっかけになることを目指して開催しました。

- ・開催日等 4月～3月 12回 ・会 場 紫波中央公民館
- ・内 容 県主催の紫波町学習支援利用者と家族へ食事や食材を提供
- ・参加者 主に日詰地区 延べ195世帯 571名
- ・財 源 助成金及び寄付金、協力金 699,800円
- ・協 力 者 民生児童委員等 延べ93名

6 食とのつながり支援事業助成 【新規事業 会費 298千円】

食支援や学習支援、居場所支援を通じて、地域に密着して行われる多様な生活課題活動を実践する団体へ助成支援を行いました。

- ・助成団体数：3団体（298,622円）

7 地域福祉推進事業助成 【新規事業 会費 979千円】

地域福祉推進事業として、地域課題、困りごとを受け止め、助け合い、支え合える事業への助成支援を行いました。

- ・第1回審査会：9月22日（金） ・審査団体数：4団体
- ・第2回審査会：11月27日（月） ・審査団体数：2団体
- ・活動報告会：2月27日（火） ・出席団体数：5団体
- ・助成団体数：5団体（979,550円）

8 高齢者安否確認システムの利用推進 【県社協事業】

独居高齢者を対象に、電話による安否確認システムの利用を推進しました。

- ・利用実績 1件

第6 共同募金配分、歳末たすけあい運動事業

- 1 地域交流イベント「ふれあいフェスタ2023」 【継続：共同募金 654,697 円】
 障がい者と健常者との相互理解、障がい者に関する正しい知識の普及と啓蒙、文化活動を通じた交流、障がい者の自立と社会参加の促進を目的に開催しました。
- ・実施日 10月6日(金)～7日(土) 10:00～15:00
 - ・場所 オガールプラザ内「紫波町情報交流館」及び東広場
 - ・展示物 障がいのある方が製作した31点の作品、町内福祉団体や事業所の紹介パネル、紫波総合高校の協力で製作した親の会の家族写真の展示
 - ・販売等 福祉事業所等7店舗で軽食や物品の販売、ボラ協によるバザーの開催
 - ・イベント 音楽ステージを4団体等により実施
 - ・表彰 ふれあいフェスタ実行委員長表彰 3名、町社会福祉協議会長 10名

2 福祉団体等への活動支援 【1,100 千円】

(1) 事務を受託している団体（7団体）

ボランティア連絡協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、母子寡婦福祉協会、更生保護女性の会、手をつなぐ親の会

(2) 子育て支援 【72 千円】

就学前児童の子育てひろば（子育てサロン）を開催しているボランティアグループ3団体へ活動費の助成を行いました。 ・活動助成金 3ひろば総額 72,000 円

(3) 行政区長協議会等への支援（3団体） 【200 千円】

3 赤い羽根共同募金

(1) 募金運動

・運動実施期間 10月～12月 ・募金実績額 5,928,579 円

(2) 福祉支援事業助成（1件5万円限度）

・決定団体数 10 団体 ・助成金額 500,000 円

(3) 社会福祉協議会が行う事業へ助成

・事業数 4 事業 ふれあいフェスタ、いこいの家、社協だより、障害者団体等活動
 ・助成金額 4,419,585 円

4 歳末たすけあい運動

低所得世帯や母子・父子世帯や常時介護を要する方に、義援金を配分しました。

・運動実施期間 10月～12月 ・募金実績額 4,840,266 円
 ・配分額 3,634,000 円
 ・配分内訳

区 分		世帯・人員	単 価	金 額
要保護世帯	高齢者・母子等世帯	266 世帯	11,000 円	2,926,000 円
常時介護を要する個人	寝たきり・認知高齢者、重度心身障害者	118 人	6,000 円	708,000 円

第7 紫波町受託事業

1 無料相談事業「ふれあい相談所」

住民の抱えている課題解決に援助し、協力するため、無料相談所を開設しました。

- ・実施日 人権擁護委員毎月1回、弁護士毎月1回
- ・場所 福祉センター団体室、ボランティア室、和室
- ・相談員 人権擁護委員7名、弁護士1名
- ・件数内訳

生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚
2	2	1	0	5	0
離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産
6	0	0	1	40	9
事故	児童・母子保健	教育・青少年	心身障害者	母子・父子福祉	高齢者福祉
0	0	0	1	0	0
苦情	日常生活自立支援	その他			合計
0	0	0			67

2 移送サービス

車椅子利用者等で一般の交通機関の利用が困難である高齢者や障がい者（町認定者）を対象として、病院や福祉施設等へ移送する有償のサービスを実施しました。

- ・利用登録者数 66名
- ・利用延べ回数 667回
- ・運転手 3名
- ・専用車両 3台

3 高齢者サロン「いこいの家」助成事業

町内のひとり暮らし老人や老夫婦世帯の孤独感解消や健康保持を目的に、ボランティアが実施する高齢者サロン事業「いこいの家」に、補助金を交付しました。

- ・交付額 1回3,400円（財源内訳 町2,400円、社協1,000円）
- ・地区別開催状況

日誌	古館	水分	志和	赤石
13か所 51回	6か所 29回	7か所 24回	13か所 75回	13か所 27回
彦部	佐比内	赤沢	長岡	合計
7か所 24回	9か所 16回	8か所 21回	8か所 19回	84か所 286回

4 高齢者ふれあい交流会

65歳以上の一人暮らし老人及び共に75歳以上の二人暮らし世帯を対象に、次の事業を実施しました。

(1) 日帰り温泉旅行

- ・実施日 令和5年9月12日～14日（3日間）
- ・実施場所 ラ・フランス温泉館 ホテル湯楽々
- ・参加者 対象者 64名 各地区民生委員 9名 ・負担金 1人 2,500円

- (2) 配食サービス 毎週金曜日に昼食弁当をボランティアが配布しました。
- ・利用者 38名 (3月末現在) ・利用者負担 1食 300円
 - ・実施回数 51回 ・配食総数 1,961食 ・受託料 529,470円
 - ・利用者負担 588,300円 ・事業費 1,268,417円 ・事業者支払 998,200円

5 三障がい者スポーツ交流会

障がい者の体力維持や交流を目的に、岩手県サッカー協会会長森亮様を講師にお招きし、ウォーキングフットボール(走らないサッカー)で行いました。

- ・開催日 令和5年12月4日(土) ・場所 紫波町多目的施設 ・参加者 16名

第8 ボランティアセンター事業

1 配食ボランティア

65歳以上一人暮らしや、概ね75歳以上の夫婦世帯におかずを届けながら見守りの安否確認も行いながら、年間51回昼食配食のボランティア活動を行いました。

- ・利用者 38名 (日詰4、古舘4、志和3、赤石8、彦部1、佐比内7、赤沢2、長岡9)
- ・ボランティア登録人数 28名

2 高齢者サロン「いこいの家」ボランティア

各地区の「いこいの家」運営に、ボランティアとして携わりました。

- ・お世話延べ人数 1,317名 ・開催回数 286回 ・利用者総数 3,928名

3 ボランティア活動保険加入状況 (合計 1,080名は前年比+67名)

区分	団体加入		個人加入	加入者計
基本タイプ	29団体	809名	6名	815名
天災タイプ	0団体	0名	5名	5名
行事保険タイプ	14団体(実2団体)	260名	0名	260名
計	43団体(実31団体)	1,069名	11名	1,080名

4 フードバンクへの協力

町内に設置された食品回収ポストへの協力食材を、これまでに7回フードバンク岩手(盛岡市)へ届けました。

第9 職員研修

1 紫波町社会福祉協議会職員研修

- (1) 実施日時 4月4日(火)18時30分から ・参加者 70名
- ・内容 紫波町地域福祉計画について 谷地館事務局長
 - 令和5年度事業方針について 施設長3名、遠藤管理者
- (2) 実施日時 3月19日(火)18時30分から ・参加者 70名
- ・内容 能登半島地震における被災地支援を通して 紫波町役場多田保健師
 - 豊中市CSWの取組み報告 菅波囃託員
 - 「何故あなたは虐待(不適切支援、不適切保育、不適切対応)をしないのか?」～虐待防止、不適切支援・不適切対応防止に向けて～
 - 鷹嘴施設長

令和5年度

介護事業 事業報告書

1 介護事業の状況

介護が必要な高齢者及び障がい者が、住み慣れた自宅で安心して暮らせるように、利用者自身が個々に持っている力を引き出し、その力を支え生かしながら各種の支援・介護を行いました。

2 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

介護保険において要介護認定を受けた方の介護サービス計画（ケアプラン）の作成、見直し及び介護サービスに関わる連絡・調整等を実施しました。

- ・利用者数（3月実績） 150名 要支援 17名含む。（前年度148名）
- ・介護支援専門員数 5名（前年度6名）
- ・総収入額 27,277,760円（前年度比 -4,491,500円）
- ・令和3年度に3年に1回の報酬改定が行われ1.8%報酬単価が上がりました。

3 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

要介護認定者（1～5）と要支援者（1・2）に加え、それに準じた方（事業対象者）に対しても訪問介護サービスを提供しております。

平成31年4月から、勤務シフト作成ソフトとスマホを活用したことで、勤務日程と勤務内容報告等を紙媒体から電子媒体保存となり業務効率が改善されました。

・訪問介護利用実績

（単位：人、回、時間、千円）

年度 区分		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
		事業対象者	0	1	1	0	0
実利用者数	要支援1	1	1	1	1	1	1
	要支援2	11	6	12	8	9	6
	要介護1	24	38	28	32	28	18
	要介護2	23	24	21	21	18	20
	要介護3	11	17	12	12	14	15
	要介護4	6	4	6	5	6	1
	要介護5	1	2	2	4	2	2
	計	77	93	83	83	78	63
派遣回数	身体介護	6,685	5,185	6,669	5,984	5,568	4,711
	生活援助	2,046	1,298	1,169	868	512	449
	身体・生活	2,698	3,007	2,485	2,231	2,219	2,260
	介護予防	0	0	0	0	0	0
	現行相当	649	510	739	534	463	441
	計	12,078	10,000	11,062	9,617	8,762	7,861

区 分 \ 年 度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
派遣 時間	身体介護	4,770	4,060	4,914	4,103	3,881	3,149
	生活援助	2,048	1,366	1,191	908	533	405
	身体・生活	3,630	4,147	3,332	2,069	2,054	2,985
	介護予防	0	0	0	0	0	0
	現行相当	756	555	554	518	362	344
	計	11,204	10,128	9,991	7598	6,830	6,883
収入額 (介護報酬)		41,390	39,279	41,463	35,322	32,947	29,721

- ・事業費 29,721,072円 (前年度比 -3,226,476円)
- ・平成31年4月から特定事業所加算(10%)円を含みます。
- ・介護予防サービスは、平成29年度から現行相当サービスとなりました。
- ・令和3年度に3年に1回の報酬改定が行われ0.5%報酬単価が上がりました。

4 障害者居宅介護事業 (ヘルパー派遣)

障害者総合支援法における利用者へ居宅介護サービスを提供しました。

- ・利用実績 (単位：人、回、時間、千円)

区 分 \ 年 度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
派遣対象者数		18	17	19	16	16	18
派遣回数		2,549	2,756	2,658	2,112	2,139	2,044
派遣時間		1,984	2,206	2,069	1,511	1,569	1,606
自立支援費収入		6,471	7,178	7,236	5,004	5,135	4,777

- ・事業費 4,777,018円 (前年度比 -358,474円)
- ・令和元年10月から特定事業所加算(10%)を含みます。

5 障害者外出介助事業 (ガイドヘルパー派遣)

【継続事業 町委託】

町認定の障がい者を対象として、ガイドヘルパーを派遣し、外出介助を実施しました。

- ・利用者数 5名 (前年度6名) ・派遣回数 240回 (前年度163回)
- ・派遣時間 359時間 (前年度207時間)
- ・事業費 537,350円 (前年度比 +220,750円)

6 基準緩和訪問型サービス (ホームヘルパー派遣)

介護保険要支援に準じ、町認定者チェックリストで判定された高齢者を対象に、週1回ホームヘルパーを派遣してきました。平成29年から基準緩和型サービスとなり、平成30年7月からは上限が週2回となっています。

・利用実績

(単位：人、回、時間)

年度 区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
派遣対象	21	23	25	21	25	18
派遣回数	1,117	1,238	1,377	1,172	1,217	1,111
派遣時間	837	922	1,047	879	913	833

- ・受託金額 2,154,386円(前年比-265,662円) 派遣対象者は年度末の実績
- ・事業名 29年度から基準緩和訪問型サービス、28年度までは「生活指導員派遣事業」

7 緩和型訪問かいご者養成研修

【継続事業 町委託】

学んで実践！！介護講座

- ・日時 12月5日(火)～6日(水) ・会場 オガール
- ・主催 紫波町 ・受講者 6名
- ・内容 コミュニケーション技術、事故防止・緊急対応、生活支援技術
講師は紫波町職員、数カ所の介護サービス事業所。社協からはヘルパー2名で対応しました。(受講者から訪問介護ヘルパー1名、生活介護ヘルパー1名雇用)

8 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」

【継続事業 町委託】

介護保険要支援者とそれに準じた高齢者(町認定者)を対象に実施しました。

- ・開設日数 145日(水曜日～金曜日)(前年度195日)
- ・開設場所 福祉センター
- ・登録者数 23名(3月末現在)(前年度26名)
- ・延べ利用者数 1,079名(前年度比-60名)
- ・実施内容 健康管理、趣味創作、給食、季節行事他
- ・事業費 4,714,730円(前年度比-1,485,478円)

令和5年度

虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園

虹の保育園 事業報告書

虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園

はじめに

令和5年度は、子どもたちの明るい表情や楽しそうな声、園庭を駆け回る元気な姿、そして、保護者の方の理解と協力、地域の皆様の温かい声は、保育園にとって何よりももの支えとなりました。

子どもたちが一日一日を安心して楽しく有意義に過ごすことのできる場として、子どもと共にある保育、保護者と共に進める保育を実践しました。

1 令和5年度 年間行事経過報告

4月	3日	入園式、辞令交付式
	4日	進級式
	13日	イングリッシュタイム (4, 5歳児)
	15日	父母の会総会
5月	9日	交通安全教室、祖父母参観 (5歳児)
	11日	イングリッシュタイム (4, 5歳児)
	19日	親子バス遠足 (3, 4, 5歳児) (花巻広域公園)
	22日	前期 内科健診 (0, 1, 2歳児)
	23日	田植え体験 (5歳児)
	29日	前期 内科健診 (3, 4, 5歳児)
6月	1日	交通安全教室、祖父母参観 (4歳児)
	8日	イングリッシュタイム (4, 5歳児)
	22日	前期 歯科健診 (全園児)
7月	1日	夏まつり (全園児)
	7日	保育参観 (5歳児)
	13日	イングリッシュタイム (4, 5歳児)
	21日	岩手県立紫波総合高等学校職場体験1名2日間
8月	3日	イングリッシュタイム (4, 5歳児)
	12日	保育実習生 (盛岡大学短期大学) 2名10日間
	17日	保育実習生 (盛岡医療福祉スポーツ専門学校) 1名10日間
	21日	保育実習生 (北日本医療福祉スポーツ専門学校) 1名10日間
	23日	令和6年度就学予定児童ことばの検査
	25日	保育参観 (4歳児)
	29日	保育実習生 (盛岡医療福祉スポーツ専門学校) 1名10日間
	30日	紫波第一中学校職場体験学習1名
31日	紫波第一中学校職場体験学習2名	
9月	4日	保育実習生 (盛岡大学短期大学) 2名10日間
	9日	志和八幡祭り山車引き
	14日	施設実習 (盛岡医療福祉スポーツ専門学校) 1名 イングリッシュタイム (4, 5歳児)
	19日	稲刈り体験 (5歳児)
	22日	令和6年度採用試験

9月	26日 28日 30日	角笛観劇、戸外遠足（5歳児） 岩手県保育指導監査受検 運動会（全園児）
10月	2日 6日 12日 15日 16日 23日 27日 30日	交通安全教室、祖父母参観（3歳児） 保育参観（3歳児） イングリッシュタイム（4、5歳児） 産業まつり（5歳児） 七五三参り 後期 内科健診（0、1、2歳児） お月見クッキング（3歳児） 後期 内科健診（3、4、5歳児）
11月	2日 9日 9日 20日	糠窯クッキング（5歳児） 後期 歯科健診（全園児） イングリッシュタイム（4、5歳児） 保育実習生（宮城女子大学）1名10日間
12月	2日 18日 22日	発表会（全園児） イングリッシュタイム（4、5歳児） クリスマス会
1月	5日 11日 13日 25日	ホームカミングデー 小正月（4、5歳児） 志和公民館 親子陶芸教室（5歳児） イングリッシュタイム（4、5歳児）
2月	2日 8日 16日 19日 28日	節分 イングリッシュタイム（4、5歳児） 味噌作り（5歳児） 保育ボランティア2名（21日まで） お別れ会
3月	1日 7日 16日 22日	ひなまつり イングリッシュタイム（4、5歳児） 卒園式 新年度職員会議

2 保育業務実施状況

子ども子育て支援新制度において、保護者の保育希望理由、希望必要量により、市町村の給付認定（1～3号）を受け、利用をすることとなっている。当園は、「保育所」である為、2号認定（3～5歳）、3号認定（0～2歳）の保育を実施しました。

（1）児童数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	12	18	18	20	26	26	120
4月	8 (5)	19 (17)	23 (23)	27 (26)	28 (23)	24 (23)	129 (117)
10月	9 (10)	18 (19)	23 (23)	25 (26)	28 (23)	24 (23)	127 (124)
3月	10 (14)	17 (19)	22 (23)	25 (26)	27 (23)	24 (23)	125 (128)

（ ）内は令和4年度児童数

(2) 年間入退園児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入園	26	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	28
退園	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	0	6

(3) 職員数

令和6年3月現在

園長	1名（常勤）
保育士	28名（常勤18名、非常勤10名）
調理員（栄養士除く）	6名（常勤3名、非常勤3名）
看護師	1名（常勤勤）
栄養士	1名（常勤）
事務員	2名（常勤）
その他	子育て支援員3名（非常勤）保育補助1名（非常勤）
計	43名

3 保育内容

【保育理念】

自然豊かな地域の温かい環境に守られ、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉の増進を支えます。

一人一人の子どもの幸せのために保護者及び家庭、地域社会と手を結び、すべてにおいて気くばり、心くばり、目くばりの「心」ある保育の増進に努めます。

平成16年4月1日

保育理念、保育目標に基づき、保育全体計画、保育年間計画を作成し、個々の発達を大切にした保育を実践しました。

- ① “遊ぶ力”の獲得を目指す取り組みを実施
- ② 人として生きる力の基礎を培う取り組みを実施
- ③ 集団の中で個々が育ち合う取り組みを実施
- ④ 絵本による豊かな心情作りを実施
- ⑤ 畑での野菜の栽培を実施
- ⑥ 稲作体験・味噌作り体験の実施

4 特別保育実施状況

(1) 延長保育

在園児を対象に月曜日から土曜日まで開設時間を延長し、保育を実施しました。

- ・時 間 午後6時～7時
- ・利用者 日単位利用登録延べ人数36名、利用延べ人数450名（年間）
月単位利用登録延べ人数15名、利用延べ人数917名（年間）

(2) 一時保育

満1歳以上の町内在住幼児を対象に、月曜日から土曜日まで時間単位での預かり保育を実施しました。

- ・時 間 午前8時～午後6時
- ・利用者 92名

年 度	29年度	30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度	令5年度
利用人数	166	149	232	16	108	23	92

(3) 休日保育

満1歳以上の在園児を対象に日曜日、祝日、年末に保育を実施しました。

- ・時 間 午前8時30分～午後5時
- ・利用者 24名

年 度	29年度	30年度	令元年度	令2年度	令3年度	令4年度	令5年度
利用人数	200	168	124	64	51	76	24

5 防災訓練実施状況

災害発生時に備え、職員、在園児、子育て支援センター利用者、一時保育利用児の全員を対象に訓練を実施し、災害時の対応について啓発活動を行いました。

- ・定期訓練 毎月1回（消防署指導2回）
- ・土曜日訓練 年3回
- ・定期救命講習の受講（岩手日赤支部）

月日 時間	設定	子どもの動き	避難場所	職員の訓練や学習内容
4/25 10:00	指 導	・非常ベルを聞く ・合図を聞いて保育者の所に集まる	遊戯室	・避難経路、役割分担を話し合う ・消火器設置場所確認
5/30 10:00	熊 対 策	・熊が出た時の身の守り方を知る	遊戯室	・熊についての知識、対応を学ぶ 紫波町産業部環境課講師
6/27 10:00	地 震 連絡網 訓練	・近くにいる保育者の側に集まる ・放送を聞き避難する	遊戯室	・非常持ち出し用品の点検 ・連絡網訓練実施 安否確認のメール配信、メール開封確認をする
7/26 9:45	地 震 火 災	① 押さない ② 走らない ③ しゃべらない ④ 戻らない の約束を身につける	第一避難所 消防署立ち 合い	・非常持ち出し用品の点検 ・避難所への速やかな誘導方法の確認 ・消火器の使用法を知る ・通報訓練（火災発生） ・消火栓使用法について、指導、訓練

				を受ける
8/22 17:00	火災	・保育者の指示を聞いて落ち着いて避難する	第二避難所	・夕方の時間帯の避難方法の確認をする ・避難路が確保されているか確認する
8/31 18:00	地震	・揺れがおさまるまでは安全な場所に身を寄せ、保育者の指示で次の行動に移る ・担任ではない職員でも、話を聞いて避難する	支援センター 玄関ホール	・延長保育時で、少人数の職員である時、子どもの安全を第一に考え行動に移す ・全体の安全確認、状況の把握、園長への報告、指示を仰ぐ 連絡が取れない時は職員の的確な判断が必要となる
9/1 15:40	台風による水害	・放送を聞き慌てずに保育者の傍に集まる ・身支度をし、保育者と避難する	保育室 ↓ 遊戯室	・台風の状況に合わせた保育園の対処方法、保護者への連絡方法を知る ・引き渡し訓練を実施し、役割を通して対応の仕方や引き渡しの手順を学ぶ
10/24 10:00	不審者対策	・保育者の側に集まる。指示に従い行動する ・駐在所、生活安全課の協力と立ち合いにより行う	保育室	・不審者に気付き、園児を安全に避難させる ・職員相互の連携により不審者に対応する ・対応について、生活安全課職員よりアドバイスをいただきながら気づきを話し合う
11/30 9:45	地震 紫波消防署依頼	・近くにいる保育者の側に集まる ・講話 ・DVDによる学習	保育室 ↓ 遊戯室	・避難路は確保されているか、日常的に点検しておく ・通報訓練（けが人→救急） ・消火訓練
12/19 予告なし	火災 給食室	・保育者の指示に従い避難場所に移動する	保育室各避難口	・職員にも予告なしの訓練 ・予期しない事態にどう対応するか反省を今後活かす ・冬季における避難について再度確認を行う
1/25 14:45	地震	・落ち着いて指示を聞き避難する ・着替えずに避難する	保育室	・冬場の避難路は常に確保されているか確認する ・午睡時の避難方法を職員で確認し合う
2/27 11:45	火災 給食室	・放送機器が使えないとき時の避難を経験する ・保育者の指示を聞き避難する	保育室 ↓ 第一避難所	・避難路の確保がなされているか確認 ・消火栓周辺の除雪状況の確認。 ・放送機器故障の場合の園内への周知方法の確認

3/26 16:00	地震	・安全に避難する方法、自分の命を守る大切さを確認し、みんなで1年の反省を行う	遊戯室	・1年間の反省を次年度計画へ活かすよう、意見を出し合う
---------------	----	----------------------------------------	-----	-----------------------------

6 給食実施状況

(1) 給食実施結果

厚生労働省が示す食事摂取基準に基づき乳幼児にとって適切な給与栄養量を確保できるよう、子どもの発育、発達状況、家庭環境、栄養状態を考慮しながら年間の食育計画を立案しました。また0歳児については、入園時点での月齢を基準とし、家庭と連絡を取りながら個々の成長に合わせた離乳食を進めました。

(2) 食育啓発活動

- ① 献立表の配布の実施
- ② 給食サンプルの展示
- ③ 誕生会昼食会の実施
- ④ 食事マナーの習得
- ⑤ 地産地消の推進
- ⑥ 調理の取り組み
- ⑦ アレルギー除去食の提供
- ⑧ 歯科指導の実施

(3) 衛生管理

- ① 給食安全管理に基づいた安全な調理の実施
- ② 職員細菌検査の実施
4月（全職員）毎月（給食従事者、0歳児担任）ノロウイルス（給食従事者）
- ③ 感染症対策の実施
全園児、全職員、自宅での検温、体調観察、保育室内の消毒を行いました。
- ④ 健康に関する情報（保健だより）の発行を行いました。

7 保護者との連携

(1) 父母の会

園行事の開催について、父母の会会長と相談し、各行事を実施しました。

(2) 保護者

- ① 感染に関連する事象が発生した場合における対策についての理解と協力をしてくださることにより、保育を継続することができました。
- ② 個別面談を実施し、お子さんの保育園での様子や家庭での様子、心配事や保育園への希望などいつもの送迎では中々できない話をする機会を作りました。

8 地域交流

(1) 異世代間交流

虹の保育園地域子育て支援センター高齢者クラブ（そよかぜクラブ）との交流畑での野菜収穫の際の交流を行いました。

(2) 関係団体との交流

- ① 近隣地区老人クラブさんに園舎中庭や野菜畑の整備を行っていただきました。
- ② 志和公民館にて、地域の方々と伝統行事（小正月）に参加しました。

(3) 普及、啓発活動

- ① 園行事の様子を社協広報に掲載しました。
- ② 保育の様子、行事等を園だよりで伝えました。
- ③ 保育の様子（ドキュメンテーション）を掲示し、保育の様子を伝える試みを行いました。
- ④ 健康及び感染症に関する保健だよりを発行しました。
- ⑤ 給食だより、献立表を発行しました。

9 卒園児就学予定小学校との連携

- ① 児童の就学予定校との申し送りを行いました。（町内小学校4校）
- ② 保育所児童保育要録（平成29年全部改正、平成30年4月施行保育所指針に則る）を児童の就学校へ送付しました。

10 諸会議の開催及び参加

(1) 職員会議

- ① 職員全体会議（毎月1回）
- ② 給食担当者会議、乳児部、幼児部リーダー会議
- ③ 乳幼児部連絡会議の開催（隔週）

(2) 関係機関の会議への参加

- ① 紫波町福祉相談窓口連携会議
- ② 紫波町幼児教育連絡会
- ③ 西の杜学園学校運営協議会

11 実習生、職場体験学習、ボランティアの受け入れ

保育実習生	4校	5名
施設実習生	1校	1名
職場体験学習	2校	3名
ボランティア	2名	

12 職員研修の実施

(1) 園内研修の実施（職員全体研修）年3回

- ① 水遊び、熱中症について理解する

- ② 引き渡し訓練、防犯訓練について
- ③ 園、保育の中で疑問に思っていることについて

(2) 保育士キャリアアップ研修の受講

- ・障がい児保育（2名） ・食育アレルギー（3名） ・幼児保育（2名）
- ・保健衛生（4名） 保護者支援・子育て支援（5名） 乳児保育（4名）

(3) その他外部研修

- ① 新任事務担当者講習会
- ② 幼保小の学びをつなぐ研修会
- ③ 令和5年度新任保育士研修会
- ④ 岩手県児童福祉施設等職員向け児童虐待対応研修
- ⑤ 岩手県幼児教育フォーラム
- ⑥ 岩手県園長等運営管理協議会
- ⑦ 初任主任保育士研修
- ⑧ 中堅主任保育士研修

13 苦情・相談の受付

- (1) 苦情… 0件
- (2) 相談…感染症関連5件、家庭関係2件

14 事故・ヒヤリハット報告

(1) 事故…3件

対象児童	月日・時刻	内 容	園の対応
1歳児 女児	8月29日 11:50	食後、クラス前廊下で遊んでいた際、ソフトブロックの上に立っていた本児がバランスを崩し転倒した。唇の左下を打撲し出血。	・出血箇所を確認。 止血後、口の中を確認。 保護者へ連絡し状況を伝える。受診を依頼する。口の脇の打撲、歯は問題ないが口内の傷有。抗生剤処方される。

他2件

(2) ヒヤリハット報告…24件

①給食関係

対 象	月日・時刻	状 況	対応・改善対策
給食調理	7月20日 10:40	給食提供の為、パンを切っていたところ、パンの表面に毛髪のような物がついていることに気付く	・子ども達に提供する食べ物の安全性を考えパンの使用はせず近隣の店でパンを購入また、備蓄していたアルファ米を使用した ・今回の事を自分事として受け止め普段の異物混入対策を再確認した。

他2件

②保育関係

対象児童	月日・時刻	状況	対応・改善対策
1歳児 男児	4月14日 16:25	棚に頭から侵入し抜けなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ・棚と本児を手前に移動し、棚の角度を傾けることで、頭を抜くことができた。 ・棚や引き出しなど、日常のあらゆるものの中にも危険が潜んでいることを保育士間で再度確認し、子ども達が安全に過ごせるように見守っていく。

他20件

令和5年度

地域子育て支援センター 事業報告書

1 子育て親子の交流の提供と交流の促進

就学前の在宅の親子を対象に、子育て不安の解消や保護者同士の交流の場を提供しました。

(1) 赤ちゃん広場

- ・実施日 毎週火曜日 9:30~12:00
第2、4木曜日 9:30~12:00 (令和5年6月より追加開催)
- ・対象 1歳未満の乳児と保護者
- ・延参加者数 子ども163名、母141名、父1名
- ・内容 親子でゆっくりと過ごすことを中心とし、母親同士の交流の場を図る。
保育士による手あそび、親子のスキンシップ、触れ合い遊び
絵本や紙芝居の読み聞かせ、簡単な製作活動の実施

*利用者層の変動に伴い、従前の広場(わくわく広場・3歳以上児童対象)を赤ちゃん広場に変更して開催→理由:3歳以上児童は、就園している子どもが多く、平日の利用者が無かったため。

(2) びよびよ広場

- ・実施日 毎月木曜日 9:30~12:00
- ・対象 1歳から3歳くらいまでの就園前の乳児と保護者
- ・延参加者数 子ども17名、母15名
- ・内容 親子でゆっくりと過ごしながらい子ども同士でのあそびを楽しむとともに親同士の交流を図る。
保育士による手あそびや歌あそび、乳幼児向けの体操や絵本や紙芝居の読み聞かせ、簡単な製作活動の実施

(3) キッズガーデン

- ・実施日 毎月第4月曜日 10:00~12:00
- ・対象 0歳から就園前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども34名、母30名
- ・内容 保育士とともに親子で園庭や室内での製作遊び
ミニ運動会、クリスマス会等季節にあわせた行事を開催

(4) 親子の広場

- ・実施日 毎週月曜~金曜日 13:00~17:00 毎週土曜日 10:00~15:00
- ・対象 0歳から就学前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども118名、母96名、父7名
- ・内容 親子でゆっくりとあそぶことができ、時間内であれば自由に立ち寄る場所として開放

2 子育て等に関する相談・援助の実施

- ・実施日 毎週月～金曜日 9：00～17：00 毎週土曜日 9：00～15：00
- ・対象 子育て中の親またはその関係者
- ・内容 来園または電話による相談
園の看護師、栄養士、重点的な支援が必要と判断された親子（家庭）については町内支援センター、保健師、役場担当課との連携と協働をはかりながら対応

・相談実績

相談内容	件数	相談内容	件数
基本的な生活習慣	2	行政・保育所・幼稚園	1
発達・発育	1	一時保育	0
しつけ育児	0	その他	1
医学的問題	0	合計	5

3 地域の子育て関連情報の提供

- 子育て中の親子が必要とする身近な地域の子育てについての様々な情報を提供しました。
- ・しわっせ、子育て支援ひろば、また保健センター同士、情報の交換・連絡・共有をし、広場開設時に利用者に提供しました。
 - ・研修・経験などで得られた専門知識を広場開設時に提供しました。
 - ・センター通信を発行した。（センター予定表・子育て情報・食育情報を各1回/月）
地域の方々にもセンターの情報を知っていただくためにセンター予定表を配布しました。
（志和公民館、水分公民館、社会福祉協議会等）

4 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・広場開設時における絵本の読み聞かせ、手遊び、製作等の実施 12回/月
- ・知育ヨガ講座の開催 3回/年 延べ参加人数 子ども9名、母11名
- ・給食試食会、離乳食講座の実施 2回/年 延べ参加人数 子ども3名、母3名
- ・フラワーアレンジメント講座 1回/年 延べ参加者数 子ども2名、母2名
祖母3名

5 地域支援活動の実施

子育て支援ひろば（にこにこひろばと合同）

- ・実施日 10回/年 延べ参加人数 子ども51名、大人46名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 にこにこひろばへ出向き、親子に遊びや絵本の読み聞かせを提供
活動内容により、参加者の子どもの託児

6 世代間交流

（1）高齢者ボランティア講座 [そよかぜクラブ]の開催

支援センターを拠点とし、地域の高齢者と広場参加者、在園児との交流を実施しました。

- ・実施日 毎週金曜日 9：30～12：00
製作や園行事への参加、畑での野菜栽培
- ・対象者 保育園近隣在住の高齢者

- ・内 容 支援センターの畑作り、乳児用エプロン作り、運動会のメダル作り、卒園児へのコサージュづくり、在園児との行事参加や交流(みずき団子)
- ・登 録 者 数 7名 (延べ参加人数 147名)

(2) 卒園児との交流 (ホームカミングデー)

卒園後の子どもたちの見守りの試みとして計画をたて、実施しました。

- ・実 施 日 1月5日(金)～1月10日(火) 13:00～15:00
- ・内 容 保育園で卒園児自身が作った味噌の配布
- ・参加者数 小学生23名、大人23名

令和5年度

けやき学園 事業報告書

障がいのある方への生産活動の場の提供と生活介護事業を展開し、個々の能力を引き出すことを目標に、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、利用者お一人おひとりの特性と適性に応じて次のような事業を実施しました。

1 事業所運営に関すること

(1) 利用登録者数について

- ・利用定員 40名（就労継続支援B型事業34名、生活介護事業6名）
- ・当期末登録者数 41名（B型35名、生活介護6名。男性21名、女性20名）
（紫波町36名、花巻市5名）
- ・平均年齢 42.4歳（男性42.8歳、女性42.1歳）

(2) 開所日数

- ・年間開所日数 239日（前年度と同）
- ・月平均開所日数 19.9日

(3) 利用者数

- ・年間延べ利用者数 8,480名（前年度比-353名）
- ・1日の平均利用者数 35.6名（前年度比-1.5名）

(4) 職員体制について

- ・常勤職員 14名、非常勤 1

(5) 事業稼働について

- ・生産活動の機会を提供する就労継続事業、訓練作業や情操活動等を取り入れた生活介護事業において、利用者個々の適性と特性に合わせた支援に努めました。

(6) 運営費（自立支援給付費）収入 78,243,330円（前年度比+2,058,579円）

【対予算達成率96.5%】

2 利用者支援に関すること

(1) 個別支援計画の作成および記録の整備について

- ・ご本人の意向を尊重し、支援計画書を前後期2回作成し、適正な支援に努めました。
- ・利用者個々の日常に関する記録（ケース記録）の整備に努めました。

(2) 生産活動において、個々に応じた適正作業に結びつけられるよう支援に努め、下記の結果となりました。

印刷科	3,835,731円	手拭い、タオル、Tシャツ、ジャンパー等の印刷 （前年度比+795,341円）
障子襖科	2,177,620円	障子、ふすま及び網戸の張り替え （前年度比+91,668円）
受託科	1,620,826円	調味料容器のキャップ締め、菓子袋のシール貼り、部品組立、廃プラスチックリサイクル、花植えプランター他

		(前年度比-155,501円) 参考) キャップ回収量 3,112 kg (前年度 2,962 kg)
計	7,634,177円	(前年度比+731,508円) 【対予算達成率 91.4%】

(3) 利用者への工賃支給について

- ・年間工賃支給総額 4,980,650円 (前年度比-223,480円) 【対予算達成率 93.1%】
- ・一人当たり月平均支給額 11,659円 (前年度比-36円)

(4) 生活介護事業について

- ・ウォーキングや創作活動を中心に意欲的に活動参加できるよう、家庭連絡及び職員間で連携を図りながら実施しました。

(5) 給食提供と健康支援について

- ・体重測定と嗜好調査を行い、健康支援と昼食メニューに反映させました。
- ・国内及び地元産の食材使用を基本に、刻み食やおかゆ食、アレルギー除去、病人食など(毎食対応13名)、体調と病状に合わせた食事提供を行いました。
- ・食事介助を要する方への個別対応や誤嚥防止対策、座席間隔の確保等のコロナ感染防止対策を継続しました。
- ・年間食事提供日数239日、総給食数11,804食、一日平均提供食数49.4食、利用者希望メニュー68回、郷土料理47回を提供しました。
- ・コロナワクチン接種に係り、インフルエンザと合わせて利用者の接種状況の把握と経過観察に努めました。
- ・嘱託医による健康診断の実施と、家庭対応が難しい方の通院付添を行う等、病状把握に努めました。

(6) 行事、クラブ活動等について

- ①グループでの外出機会の実施と軽運動と音楽の二つのクラブ活動を再開しました。
- ②インターネット閲覧の日を適宜設定しました。
- ③花壇の花植えや合間のウォーキング、施設内装飾づくりなどを適宜取り入れました。

(7) 本人活動や自治会活動への支援については、日常での改善点などを会議や係活動を通して意向を取り入れるよう努めました。

3 その他の事業・活動について

- (1) 利用者とそのご家族から寄せられた要望及び相談においては、職員間の共有と迅速な対処に努めました。
- (2) 体験利用の受け入れ 1名(相談支援事業所からの紹介)
授業実習5名 2校(高校、大学)

令和5年度

さくら製作所 事業報告書

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会・生産活動その他活動の機会を提供し、知識及び能力の向上に必要な訓練等を適切かつ効果的に行うことを目的に、各種事業を実施した。

1 事業所運営に関すること

- (1) 利用登録者数について 定員 20 名
- ①当期末 登録者数 21 名 (男性 7 名、女性 14 名)
(紫波町 15 名、矢巾町 5 名、花巻市 1 名)
- ・平均年齢 48.1 歳 (前年度比-0.6 歳)
- ②年間の異動状況 (新規利用者 4 名・就労及び他施設者数 2 名・退所者数 1 名)
- (2) 事業所開設日数
- ①年間延べ開所日数 240 日 (前年度比+1 日)
- ②月平均開所日数 20 日 (前年度比+0.1 日)
- (3) 利用者数
- ①年間延べ利用者数 3,885 名 (前年度比+231 名)
- ②1 日の平均利用者数 16.2 名 (前年度比 +1 名)
- (4) 職員体制
- ①常勤職員 5 名
- ②パート職員 3 名
- (5) 運営管理について
- ①関連機関との連絡調整会議等参加 (支援会議等) 53 回
- ②県内外研修会参加 4 回
- ③避難・防火訓練実施 2 回
- (6) 運営費 (自立支援給付費) 収入 31,576,730 円 (前年度比+965,647 円)

2 利用者支援に関すること

- (1) 個別支援計画 (日常生活・就労支援他) の作成
定期面談を実施し、個人ごとに本人の意向を重視した支援計画の作成に努めました。
- (2) 生産活動において、個々の能力に応じた適性作業に結びつけられるよう支援に努め、下記の結果となりました。

区分	総売上高	作業内容
受注作業部	1,819,665 円	返礼品箱詰め作業、調味料のミニボトルのキャップ、工業関係部品の組立、フルーツキャップ他 (前年度比-2,032 円)
外販促進部	85,556 円	さくら製作所施設内において、休憩時間を利用し

		て、コーヒー・お茶等の提供活動他 (前年度比-5, 524 円)
就労促進部	1, 998, 648 円	メール便の配達他 (前年度比-191, 117 円)
計	3, 903, 869 円	(前年度比-198, 673 円)

(3) 利用者工賃支給について

- ・年間工賃支給総額 3, 663, 235 円 (前年度比+66, 680 円)
- ・一人当たり月平均支給額 18, 844 円 (前年度比 +874 円)

(4) 一般就労の推進

就労希望者に対して、ハローワークや就労支援に関わる関係機関と連携し、就労に向けた支援を実施した。

- ①令和5年度の一般就労者数 0名

(5) 嘱託医による健康診断の実施

①実施回数

- ・健康診断 2回
- ・予防接種を集団で実施
- ・インフルエンザワクチン 1回

(6) 行事・余暇活動

①行事

- ・日帰り旅行(北上方面)・リフレッシュ教室を実施(参加)した。 3回

②施設内行事

- ・季節行事(納涼祭・そば打ち・クリスマス会等)として食事会を実施した。 11回

3 その他の事業・活動について

(1) 送迎サービス

- ①送迎サービス利用者数(当期末現在) 18名

(2) 苦情解決

当事者等からの苦情(不安や悩みを含む)があった場合、適切に対応し今後の事業所運営に反映させる体制に努めた。

- ①苦情受付件数 0件
- ②その他相談受付件数(コミュニケーションに関する事) 2件

(3) 事業所利用体験実習、視察、学生体験実習等の受入

- ①年間事業所見学者数(当事者他) 28名
- ②年間事業所施設体験・実習者数(当事者) 3名